

水 道 課

平成 27 年 9 月 30 日現在における平成 27 年度水道事業の財務に関する事務の執行状況並びに経営状況について定期監査を実施したので、その結果について概要を述べる。

1 職員の配置状況

当課の職員は課長 1 人、管理係 4 人、工務係 3 人の計 8 人で、伊佐市職員定数条例の定数より 4 人減である。このほか管理係に嘱託職員 1 人、工務係に臨時職員 1 人を配置している。

2 財務に関する事務執行状況

(1) 収益的収入及び支出

当期の収益的収入は予算現額 4 億 457 万 5,000 円に対し、調定額 1 億 6,843 万 8,655 円、収入済額 1 億 3,346 万 2,461 円で、予算に対する収入済額の割合は 33.0%、調定額に対する収入済額の割合は 79.2%になっている。

収入済額の内訳は、給水収益 1 億 3,281 万 5,039 円、その他営業収益 44 万 2,500 円、営業外収益 20 万 4,922 円となっている。

なお、現年度未収金は営業収益 3,445 万 9,564 円である。

一方、収益的支出は予算現額 3 億 6,356 万 8,000 円に対し、支出負担行為済額 9,362 万 7,621 円で 25.8%の執行率である。

支出負担行為済額の内訳は、原水及び浄水費 2,482 万 8,995 円、配水及び給水費 1,976 万 9,811 円、総係費 3,170 万 4,523 円、支払利息及び企業債取扱諸費 1,730 万 2,527 円、特別損失 2 万 1,765 円である。

(2) 資本的収入及び支出

当期の資本的収入は、予算現額 2 億 1,900 万円に対し調定額、収入額ともに 0 円である。

一方、資本的支出は予算現額 4 億 1,354 万 1,000 円に対し、支出負担行為済額 2 億 7,533 万 7,920 円で、執行率は 66.1%である。

支出負担行為済額の内訳は、建設改良費 2 億 1,778 万 1,870 円、企業債償還金 5,755 万 6,050 円である。

なお、当期において資本的収入額が資本的支出額（支出済額）に対し不足する額 6,775 万 6,520 円は、減債積立金 2,500 万円と過年度分損益勘定留保資金 4,232 万 2,580 円及び当年度分消費税資本的収支調整額 43 万 3,940 円で補填されている。

(3) 損益計算書（平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）

（単位：円）

1 営業収益	157,759,260	
2 営業費用	<u>138,687,675</u>	
営業利益		19,071,585
3 営業外収益	40,130,563	
4 営業外費用	<u>17,302,527</u>	<u>22,828,036</u>
経常利益		41,899,621

5 特別損失	<u>21,701</u>	<u>△21,701</u>
当期純利益		41,877,920
前年度繰越利益剰余金		<u>1,786,700</u>
当期未処分利益剰余金		<u>43,664,620</u>

4月～9月の収入として、一般会計負担金（営業収益・その他営業収益）241万1,200円と一般会計負担金（営業外収益）451万円、長期前受金戻入（営業外収益）1,840万1,000円、一般会計補助金（営業外収益）238万円、資本費繰入収益1,411万8,500円を計上し、支出として、水質検査委託料（原浄費）244万2,500円、電気設備保安管理・監視ネットワーク業務委託料（原浄費）181万5,000円、9月分動力費（原浄費）195万7,340円、退手組合負担金（総係費）207万5,000円、会計制度改正指導・助言業務委託（総係費）24万円、減価償却費の6/12の7,521万1,500円を計上している。

(4) 貸借対照表（平成27年9月30日）

資 産 の 部		(単位：円)
1 有形固定資産	3,545,825,579	
2 無形固定資産	125,000	
3 投資その他の資産	<u>39,985,600</u>	
固定資産合計		3,585,936,179
1 現金預金	296,254,773	
2 未収金	58,978,073	
3 貯蔵品	2,457,385	
4 前払金	78,761,300	
5 その他流動資産	<u>2,942,067</u>	
流動資産合計		<u>439,393,598</u>
資産合計		<u>4,025,329,777</u>

負 債 の 部		(単位：円)
1 引当金	34,716,275	
2 企業債	<u>1,218,412,860</u>	
固定負債合計		1,253,129,135
1 企業債	58,233,690	
2 未払金	8,529,840	
3 前受金	3,498	
4 その他流動負債	<u>13,731,831</u>	
流動負債合計		80,498,859
1 長期前受金	1,343,740,534	
2 長期前受金収益化累計額	<u>△ 640,887,404</u>	
繰延収益		<u>702,853,130</u>
負債合計		2,036,481,124

資 本 の 部

(単位：円)

1 自己資本金	1,797,555,273	
資本金合計		1,797,555,273
1 資本剰余金	2,628,760	
2 利益剰余金	188,664,620	
剰余金合計		191,293,380
資本合計		1,988,848,653
負債資本合計		4,025,329,777

当期減価償却費は、当年度予定額の 6/12 を資産種別ごとに計上し、各減価償却累計額に合算している。また、委託料契約額 4,497,500 円と退手組合負担金の 6/12 の 2,075,000 円と 9 月分動力費 1,957,340 円を未払金に、一般会計負担金の 6/12 の 23,419,700 円を未収金に計上している。なお、利益剰余金のうち未処分利益剰余金は、平成 27 年度処分後（減債積立金へ 45,000,000 円、資本金へ 45,108,654 円）で作成されている。

(5) キャッシュ・フロー計算書は次頁に掲載。

(6) たな卸資産購入限度額の執行状況

(単位：円)

購入限度額	執行額	購入限度額 残高	前年度繰越額	受 入		払 出	9 月末残高
4,887,000	3,090,091	1,796,909	2,265,115	購入	2,861,196	3,185,556	2,457,385
				戻入	516,630		

払出額 318 万 5,556 円は、量水器取替による原材料費や修繕費、原水及び浄水費の薬品費などである。

(5) キャッシュ・フロー計算書

(単位：円)

区 分	金 額	区 分	金 額
業務活動によるキャッシュフロー		投資活動によるキャッシュフロー	
当期純利益	83,798,560	建設改良費	△9,766,530
非資金項目の調整		建設改良費にかかる収入	0
減価償却費	0	固定資産の売却	0
固定資産除却費	0	投資有価証券の取得	0
賞与引当金	△4,065,000	投資有価証券の償還収入	0
退職給与引当金	0	有価証券の受取利息	160,000
減損損失	0	有価証券の増減額	0
貸倒引当金	0	投資活動によるキャッシュフロー	△9,606,530
減損処理長期前受金戻入額	0		
長期前受金戻入額	0	財務活動によるキャッシュフロー	
退職給付引当金戻入額	0	企業債の発行	0
過年度損益修正益	0	企業債の償還	△57,556,050
業務活動による資産及び負債の増減		支払利息	△17,302,527
未収金の増減	△5,688,667	財務活動によるキャッシュフロー	△74,858,577
貸倒引当金の増減額	0		
貯蔵品の増減額	△192,270	資金に係る換算差額	0
前払金の増減額	△78,761,300	資金減少額	△110,336,304
未払金の増減額	△48,851,597	資金期首残高	406,591,077
前受金の増減額	△950	資金期末残高	296,254,773
その他負債の増減額	13,469,567		
その他資産の増減額	△2,722,067		
業務活動以外の損益項目			
受取利息及び配当金	△3,027		
支払利息等	17,302,527		
有価証券の受取利息	△160,000		
小 計	△25,874,224		
受取利息及び配当金受取額	3,027		
支払利息等支払額	0		
業務活動によるキャッシュフロー	△25,871,197		

3 工事の執行状況

当期中に発注された建設改良工事の執行状況は次のとおりである。

工 事 名	工 事 内 容	契約金額 (円)	契 約 の 相 手 方	契 約 方 法	工 期
市道里町轟公園線 配水管布設替工事	HI-VP φ75 L=147m 仕切弁 φ75 1基	(当初) 1,815,480 (変更) 237,520 (合計) 2,053,000	(有)小山金物店	指名競 争入札	H27.4.20 ~H27.8.31
山野配水池造成工 事	配水池場内配管工一式 流入管 GX形 φ200 L=40m 流出管 GX形 φ200 L=40m 越流管 K形 φ150 L=11m 排水管 GX・K形 φ150 L=11m	36,072,000	(有)徳永電気水 道設備	指名競 争入札	H27.6.10 ~H27.12.21
国道267号(バイ パス)配水管新設 工事 (H27-1工区)	HI-VP φ150 L=61m	1,733,400	(有)末吉工業	指名競 争入札	H27.6.23 ~H27.9.30
国道267号(バイ パス)配水管新設 工事 (H27-2工区)	HI-VP φ150 L=120m 仕切弁 φ150 2基 空気弁 φ75 2基	3,780,000	(有)共立土木	指名競 争入札	H27.6.23 ~H27.8.10
山野配水池築造工 事	配水池 有効容量1,000 m ³ 内径15m 有効水深H=5.7m	93,204,000	(株)富士建設	指名競 争入札	H27.7.15 ~ (H28.2.9)
生活基盤施設耐震 化等交付金事業 中央・本城連絡管 布設工事(H27-1 工区)	HI-VP φ150 L=248.5m DIP-GX形 φ150 L=12.3m	10,584,000	(株)國玉建設	指名競 争入札	H27.8.7 ~H27.11.30
生活基盤施設耐震 化等交付金事業 中央・本城連絡管 布設工事(H27-2 工区)	HI-VP φ150 L=333.6m	9,180,000	(有)大口中央設 備	指名競 争入札	H27.8.7 ~H27.11.30

山野ポンプ場送水 ポンプ設備工事	送水ポンプ設備工事 送水ポンプ室ピット内 グレーチング設置工 電動弁カバー取付工	24,840,000	(株)アリマコー ポレーション	指名競 争入札	H27.8.11 ~H28.2.9
山野ポンプ場 山野配水池 電気設備工事	山野ポンプ場 送水ポンプ盤 計装設備 配管配線工事 滅菌設備工事 山野配水池 変換器盤 計装設備	28,080,000	(株)明興テクノ ス	指名競 争入札	H27.8.11 ~H28.2.9

このほか、手数料 71 件（設計審査手数料 69 件、新規指定店登録手数料 2 件）。工事請負契約書等については、関係法令に従って処理されており適切であることを認めた。

4 委託の執行状況

本年度において執行した委託業務は、次のとおりである。

補助 単独 の別	委託事業名	契約金額 (円)	契約の 相手方	契約 方法	契約の 期間
単独	大口地区修繕業務	2,160,000	大口水道修繕セ ンター	随意 契約	H27.4.1 ~H28.3.31
単独	菱刈地区修繕業務	939,600	菱刈水道修繕セ ンター	随意 契約	H27.4.1 ~H28.3.31
単独	水道施設監視ネットワ ーク・電気設備保守保 安管理業務	3,920,400	(株)明興テクノス	随意 契約	H27.4.1 ~H28.3.31
単独	量水器検針事務	64/件	個人5人とシル バー人材センタ ー	随意 契約	H27.4.1 ~H28.3.31
単独	飲料水毎日検査業務	6,600/日	濱本 悟	随意 契約	H27.4.1 ~H28.3.31
単独	飲料水質検査業務	5,275,800	(株)鹿兒島環境測 定分析センター	指名競 争入札	H27.4.10 ~H28.3.31
単独	新地方公営企業会計導 入に係る指導・助言業 務	518,400	有限責任監査法 人 トーマツ	随意 契約	H27.4.8 ~H28.3.31

単独	大口水源地ポンプ槽・中央第1配水池清掃業務	1,080,000	ノダック(株)九州事業所	随意契約	H27.5.11 ～H27.8.11
単独	山野配水池築造工事監理業務	3,888,000	榊水協設計事務所	随意契約	H27.7.15 ～H28.2.9
単独	水道施設除草・点検作業業務(大口地区)	393,120	大口管工事組合	随意契約	H27.5.11 ～H28.3.25
単独	水道施設除草・点検清掃業務(菱刈地区)	393,120	伊佐市菱刈水道設備会	随意契約	H27.5.11 ～H27.11.30
単独	量水器取替・撤去業務	規格ごとの取替単価・撤去単価による	大口管工事組合・伊佐市菱刈水道設備会	随意契約	H27.5.11 ～H27.10.30

5 業務の執行状況

(1) 給水の状況

(消費税込み)

月	給水戸数(戸)	給水量(m ³)	給水収益調定額(円)
4	10,206	159,228	26,930,287
5	10,180	157,361	26,560,332
6	10,157	166,372	28,147,033
7	10,149	162,791	27,607,267
8	10,153	169,137	28,648,171
9	10,151	174,179	29,381,513
計		989,068	167,274,603

(2) 用途別給水戸数(平成27年9月分)

用途	家庭用	営業用	官公署用	工場用	農業用	工事用	計
戸数(戸)	9,352	571	146	25	39	18	10,151

(3) 口径別給水戸数(平成27年9月分)

口径(mm)	13	20	25	30	40	50	75
戸数(戸)	9,451	449	96	44	78	20	13
口径(mm)	100	計					
戸数(戸)	0	10,151					

(4) 使用水量段階別給水戸数 (平成 27 年 9 月分)

使用水量 (m ³)	0	1～5	6～10	11～15	16～20	21～30	31～40
戸数(戸)	1,062	1,817	1,604	1,504	1,330	1,735	663
使用水量 (m ³)	41～50	51～100	101～500	501～1000	1001 以上	計	
戸数(戸)	185	165	73	8	5	10,151	

(5) 平成 27 年度上半期における水道料金の過年度分未収金は 623 件、155 万 6,216 円である。内訳は平成 22 年度分 71 件、18 万 2,091 円、平成 23 年度分 31 件、4 万 3,743 円、平成 24 年度分 48 件、4 万 425 円、平成 25 年度分 122 件、21 万 872 円、平成 26 年度分 351 件、107 万 9,085 円となっている。

未収金の徴収については、催告書による納入催足など努力されているが、負担の公平を期するため、未収金の解消に向けてより一層努力されることを望む。

6 現地監査

山野配水池造成工事、山野配水池築造工事、山野ポンプ場送水ポンプ設備工事、山野ポンプ場山野配水池電気設備工事、生活基盤施設耐震化等交付金事業の中央・本城連絡管布設工事 (H27-1、2 工区) における施工状況等について現地監査を実施した結果、いずれも良好に施工されていることを認めた。また、大口水源地 (第 1、第 2 深井戸) 及び配水池、南浦地区簡易水道水源地及び配水池の管理状況についても概ね良好に管理されていることを認めた。

7 その他

当課が整備保管すべき財務に関する諸帳簿類は、概ね良好に整備保管されていることを認めた。